「次代に夢をつなぐ、持続可能なまちづくり」を目指して
令和7年度　まちの当初予算は129億2700万円になりました

今年度の当初予算は、前年度に比べて、16億4000万円(14.5％)増の129億2700万円となっています。

今月号では、「次代に夢をつなぐ、持続可能なまちづくり」を目指す施策として5つの柱を中心に予算を紹介します。先月号の令和7年度施政方針と一緒にご覧いただければ、よりご理解いただけると思います。

令和7年度の主な施策は次のとおりです

※文字に色がついている事業は、国や県の補助金・交付金を活用したもの

1. 産業の再興と雇用基盤の強化

• 瀬戸内国際芸術祭2025の推進	5519万円
• 新規ビジネスの立上げ支援（地域経済循環創造事業）	8500万円
• 小豆島オリーブ公園記念館の改修	5601万円
• 小豆島ふるさと村再整備事業	1560万円
• 主体的にがんばる事業者販路開拓支援事業	1000万円
• 小豆郡雇用モデル推進事業	1616万円
• 企業誘致促進事業	650万円
• 有害鳥獣対策事業	5484万円
• 持続可能な観光推進事業	484万円
• オリーブトップワンプロジェクト推進事業	2043万円
• 海産物輸送費支援事業	200万円

2. 公共交通の確保と港の再整備

• オリーブバス車両購入の補助	2700万円
• 小豆島中央高校通学支援事業	775万円
• 寒霞渓シャトルバスの運行	390万円
• 池田港歩道設備の改良	4000万円
• 池田港浮桟橋係留施設の更新	450万円

3. 教育施設の再編による教育・子育て環境の充実

• 内海地区統合小学校の整備	14億1181万円
• 池田小学校体育館空調設備の整備	1億2815万円
• 小・中学校の給食費無償化	3860万円
• 英語教育の推進	2399万円
• STEAM教育の推進	1711万円
• GIGAスクール構想推進事業	2293万円
• 地域活性化起業人による高校の魅力向上	690万円
• セミオープンシステムによる出産費用の補助	340万円
• 妊婦のための支援給付金の支給	1309万円
• こども医療費支給事業（町単独分）	1648万円

4. 集落活性と空き家活用

• 池田地区更新住宅等整備事業（解体及び基本設計）	1億3932万円
• 若者の住宅取得支援	2000万円
• 空き家資源の活用	1427万円
• 老朽危険空き家等の除却支援	6000万円
• 移住促進家賃等助成事業	1230万円
• 町営住宅等管理適正化事業	900万円

5. 安全・安心施策の推進

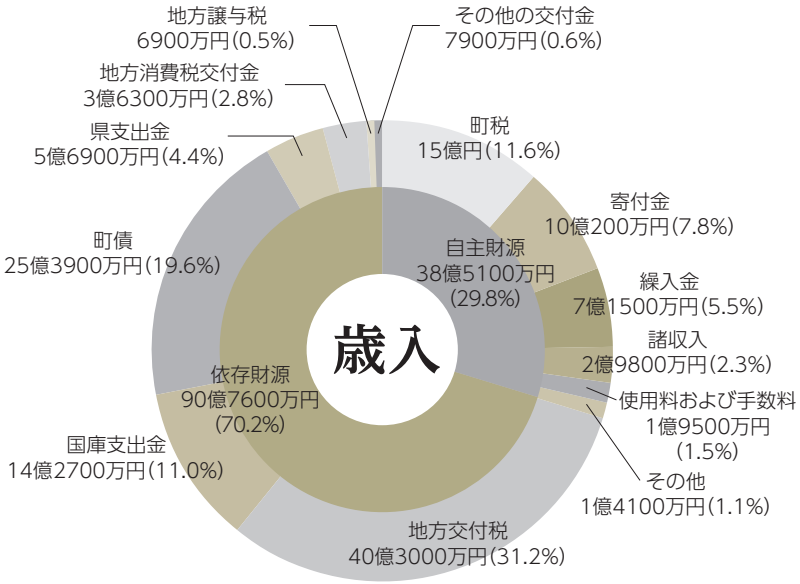
• 防災行政無線の更新	6億5805万円
• 小豆島中央病院の運営支援	3億1367万円
• 道路橋梁維持管理・改良	3億8154万円
• グループホームの整備	6292万円
• 内海地区雨水公共下水道整備事業	1億5750万円

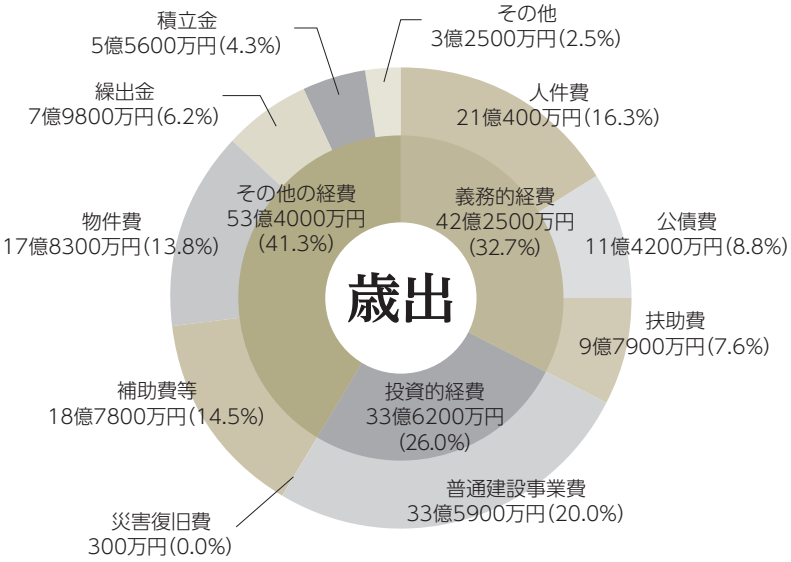
歳入と歳出の内訳は次のとおりです

ー歳入を見てみましょうー

歳入の中で１番大きな額となっている「地方交付税」は、どの地域にいても一定の行政サービスが受けられるよう、各自治体の財政状況に応じて国から配分されるものです。

配分額は、各種データに基づき算定されますが、皆さんに５年に１度回答いただいている国勢調査の結果（人口、世帯数等）も算定材料のひとつです。次の国勢調査は本年に行われますので、ご協力をお願いします。





ー歳出を見てみましょうー

右のページの「内海地区統合小学校の整備（14億1181万円）」は歳出グラフの「普通建設事業費」に含まれます。

新しい小学校の令和９年４月開校を目指して、新小学校を建設する校舎建築工事費や通学路の整備をするための予算となっています。

※100万円未満は四捨五入しているため、合計が合わない部分があります。

私たち１人あたりに使われる金額はいくら？

私たち１人あたりに使われる金額は103万204円で、そのうち町が賄える金額は30万6901円です。

※まちの人口１万2548人（４月１日現在）と自主財源の数値から算出しています。

問い合わせ先　企画財政課　☎82-7000